

令和6年度生活介護・就労移行支援事業 は〜と・ピア2 年間事業報告

1 日常生活の援助・支援

(1) 生活介護

個別支援計画に基づき、健康的で豊かな生活を維持していくための基本となる身体介助や生活介護、コミュニケーション援助・支援等を個々の利用者に合わせ行った。

[日 課]

時 間	適 用	時 間	適 用
8 : 40 ~	送迎車出発 通所、個人活動	13 : 30 ~	箸入れ作業、個別活動 隔週(水)編み物(木)作品づくり
10 : 00 ~	朝の会・体操	15 : 00 ~	館内清掃
10 : 30 ~	ウォーキング、ド ライブ、個人活動	15 : 30 ~ ただし、水曜日は 15 : 00	利用者帰宅・送迎車出発 (水曜日 サービス支援会議のため)
12 : 00 ~	昼食・休憩		

(2) 就労移行支援

利用者なしのため下記実施せず。

時 間	適 用	時 間	適 用
9 : 30 ~	自主通所、個人活 動、えんむすび勤 務	12 : 45 ~	昼食
10 : 00 ~	朝の会・体操	13 : 30 ~	受注作業、個別活動
10 : 30 ~	個人活動	15 : 00 ~	館内清掃
11 : 00 ~	えんむすび勤務	15 : 30 ~ ただし、水曜日は 15 : 00	利用者帰宅・送迎車出発 (水曜日 サービス支援会議のため)

2 支援内容

(1) 生活介護

事業目標の達成状況

①本人の思いに添った個別的な支援

- ・障害特性に配慮し個別支援やグループ支援の体制の再整備を行った。
- ・非常勤職員も含めてケース会議への参加率が昨年度より上がり、充実した会議が行えている。会議の内容を日々の支援に活かせるよう職員全体への周知をよりスムーズに行った。

②支援指針に則った支援の質の向上

- ・動画視聴やオンラインでの法人内の研修には多くの職員(常勤・非常勤)が参加が出来るようになってきている。
- ・障害特性や利用者の加齢に伴う変化に対応出来るよう、より専門的な知識を事業所の職員全体で得ていく事を次年度の課題とした。

③リスクマネジメント

- ・令和6年度の事故・ヒヤリハット件数49件。(昨年度67件。)職員全体で危険予知の意識が上がってきており昨年度よりは件数を減らすことが出来た。
- ・車内置き去りの重大事故(利用者の心身に影響なし)が発生してしまった。事故防止マニュアル、チェックリストを改定し、置き去り防止装置を設置し、再発防止に努めた。

④利用者確保

- ・特別支援学校や文京区内の地域生活安心拠点からの連絡があり、見学や体験利用等の問い合わせが増え、利用者確保に至っている。

(2)就労移行

- ・利用者が不在になり、直接の支援はない。中華弁当の配達を支援員と生活介護利用者が行った。

3 健康管理

(1) 血圧・体重測定

・看護師により、週に1回血圧測定や髭剃りなど身辺処理を、月1回体重測定を行った。

(2) 定期健診

・加賀谷歯科医院 加賀谷医師による定期健診を3ヶ月に1回行った。

6月17日（15名）、9月9日（15名）、12月（12名）及び2月（12名）に実施した。

4 社会生活の支援

(1) 買い物

買い物を体験することで社会経験の拡大を促すことを目的に行った。

(2) 公共施設の利用

図書館やコンサートなどの身近な公共機関の利用や地域のイベントに参加することによって、生活経験を広げることを目的として実施した。

5 生産活動

作業をすることを通して、働く喜びや社会構成員としての自覚を促すことを目的に実施した。

(1) 室内作業

作業	作業内容	備考
冊子封入作業	全国連合小学校長会機関誌の小学校時報の冊子封入	(株)第一公報社
ステッカー・ポストカード封入作業	キャラクターのステッカー・ポストカードをOPP袋に封入	(株) トーシンパック
割箸の袋入れ	えんむすびで使用する割箸を紙袋に入れ、一定の本数をビニール袋に梱包。	えんむすび (就労移行支援)
着物解体	着物を解体する（解き、洗い、アイロンがけ）	中辻清香

(2) 清掃活動

事業名	事業内容	備考
館内清掃	毎日、館内の清掃、及びゴミ収集を行った。	
公園清掃	毎週金曜日、利用者及び支援員で区立竹早公園の清掃を行った。 (ゴミ袋回収、ゴミの分別、ゴミ拾い)	文京区からの受託事業

(3) 販売活動

事業名	事業内容	備考
利用者自主製作品の販売	文の京ハートフル工房(3回 5月、7月、12月) 文京区内の障害者施設合同の販売会に参加。	シビックセンター 地下2階

6 創作的活動

自己選択・自己決定の機会を設定し、利用者の主体性や個性、意欲（知識、経験、習慣）を育み、潜在能力を引き出すことを目的として実施した。

	内容
図画工作・手芸	・ビーズ細工（プレスレット・指輪） ・編み物（マフラー、アクリルたわし等） ・スウェーデン刺繍 ・手織物 ・壁面装飾

7 その他の活動

基礎体力作りや健康維持を目的に、生活の中で身体を動かす時間を作り、継続した。

体 操	体力・筋力の維持を目的として毎朝の体操を行い、周辺を歩いた。毎週木曜日午後にはストレッチ体操を楽しみながら体験できるように行っている。
その他	パソコン、DVD鑑賞、雨天の場合は館内でダンス・体操を実施
地域自立支援協議会 障害当事者部会	利用者1名が委員として会議に出席している。知的障害以外の障害当事者委員とともに自分の意見を発言することで、自信につながっている。

8 年間行事実施状況

月	内 容
4	行事なし
5	フラワーセラピー（18名）、誕生会（18名）
6	
7	フラワーセラピー（16名）、誕生会（18名）
8	
9	フラワーセラピー（17名）
10	健康診断①（9名）、健康診断②（10名）、日帰り旅行（18名）
11	フラワーセラピー（20名）
12	ふれあいの集い見学（18名）
1	
2	合同運動会（17名）
3	フラワーセラピー（20名）

9 通所者数及び職員数

(1) 生活介護

※各月1日現在

定員22名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
区分							
区分6	4	4	4	4	4	4	
区分5	6	6	6	7	7	7	
区分4	6	6	6	6	6	6	
区分3	3	3	3	2	2	2	
区分2	1	1	1	1	1	1	
合計	20	20	20	20	20	20	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
区分							
区分6	4	4	4	4	4	4	4.0
区分5	7	7	7	7	7	7	6.8
区分4	6	6	6	6	6	8	6.2
区分3	2	2	2	2	2	1	2.2
区分2	1	1	1	1	1	1	1.0
合計	20	20	20	20	20	21	

(2) 就労移行支援

※各月1日現在

定員8名

種別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
通所者	人数		0	0	0	0	0	0	
	合計		0	0	0	0	0	0	
種別		月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通所者	人数		0	0	0	0	0	0	0.0
	合計		0	0	0	0	0	0	0.0

(3) 職員数 (生活介護)

種別		月	3月現在
職員	施設長		1
	サビ管		1
	支援員		5
	計		7
非常勤	支援員		12
	嘱託医		1
	看護師		1
	運転手		1
	計		15

(4) 職員数 (就労移行支援)

種別		月	3月現在
職員	施設長		1
	サビ管		1
	支援員等		2
	計		4
非常勤	支援員等		2
	嘱託医		1
	看護師		1
	調理員		1
	計		5

(5) 入退所状況

① 入所

入所年月日	性別	年齢	入所前状況	障害支援区分
R7.3.7	男	58	在宅	4

② 退所

退所年月日	性別	年齢	退所後状況	障害支援区分
R7.3.31	男	51	就労継続B型事業所	5

10 相談援助実習

受入数	学校名、利用施設
1名	東京福祉大学 (6/3~6/11)
2名	東京福祉大学 (7/16~8/22)
1名	日本福祉教育専門学校 (8/19~8/28)
1名	東洋大学 (9/2~11/14)
2名	東洋大学 (10/14~10/18)
2名	日本福祉教育専門学校 (2/3~3/7)

11 ケース会議実施状況

開催回数	主な会議内容
15回開催 (4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 1, 2, 3月)	(1) 利用者の状態の把握 (2) 行事等事前打ち合わせ、反省会 (3) 個別支援計画、サービス等利用計画の確認

12 送迎

	利用人員	送迎時間
朝	18	午前8時40分~午前9時30分
夕方	20	午後3時30分~午後4時50分

水曜日の帰りの送りは、午後3時~午後4時20分